

平成28年度

事業計画及び予算について

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

一般社団法人 東北地域医療支援機構

平成28年度事業計画

平成28年4月1日～平成29年3月31日

1. 東北医科薬科大学に対する助成事業

- ・本法人は、東日本大震災からの復興、今後の超高齢化と東北地方における医師不足、東京電力福島第一原子力発電所事故からの再生といった地域の要請をふまえ、宮城県及び学校法人東北医科薬科大学と連携し、東北医科薬科大学における資金循環型の修学資金制度への助成事業を行い、医学部の学生を経済的に支援することにより、地域医療を支える医師を育成する。
- ・平成28年度の修学資金制度への助成対象者は、宮城県枠30名、東北5県枠5名(各県1名)であり、東北医科薬科大学への助成を通じて医学生に経済的支援を行う。

2. 賛助会員の募集

- ・賛助会員は、将来、指定医療機関として医師を受け入れ、負担金を社団に拠出する団体である。
- ・賛助会員規約を定め、募集を行うが、入会に関して理事会で加入の可否について協議を行う。
- ・賛助会員会費は、情報提供費用、法人運営事業経費として、1団体当たり年間12万円の負担を求める。
- ・28年度は自治体病院等20団体の加入により、賛助会員会費収入として240万円を見込む。
- ・東北5県に対して、資金循環型の修学資金制度について重ねて説明を行い参加を呼び掛けるとともに、東北5県の自治体病院等にも賛助会員への入会を働きかける。

3. 寄付金の募集と受け入れ

- ・本法人の事業に賛同する個人(卒業生、在学生、教職員、一般有志)及び法人に寄付を募集する。
- ・募集方法はホームページへの掲載のほか、個別に依頼文書の発送も行う。
- ・28年度は寄付金収入として60万円を見込み、平年度では310万円を見込む。
- ・また、寄付者である法人・個人が税制上の優遇を受けられるよう、本法人の早期公益法人化を目指す。

4. 特定資産の運用

- ・宮城県を主体に拠出される資金により、本法人に助成基金を設置する。※基金の受け入れは平成27年度から。
- ・助成基金は特定資産とし、修学資金制度助成資金積立資産として管理するが、基金受入額が貸与額を上回る期間については差額の運用により運用益の確保が可能であり、長期的な資金繰りを勘案の上運用を行う。
- ・運用に際しては、元本の安全性を最優先とし、定期預金等での運用を検討する。
- ・28年度は特定資産の運用により、340万円程度の運用益を見込む。

5. 賛助会員等に対する説明会開催、ニーズ調査及び情報提供

- ・27年度の決算、28年度の予算・事業計画の内容について賛助会員向けに説明会を開催する。
- ・東北医科薬科大学の医学教育推進センター長を講師に招き、賛助会員、医師を対象に県内の地域医療ネットワーク病院、登米・石巻サテライトセンター等に関するセミナーを開催する。
- ・賛助会員(自治体病院等)、在学生のニーズ調査を行い、賛助会員においては医師の派遣を希望する診療科目や病院の受入体制等、在学生においては勤務を希望する診療科目、病院の規模等を調査する。
- ・将来、賛助会員、在学生の双方のニーズが合致し、地域医療の充実に寄与できるようなマッチングを目指して情報の収集と提供に努める。
- ・このため、情報管理に必要なデータベースシステムを構築し、賛助会員、在学生及び卒業生から得られた情報を正確に入力すると共に、情報提供の際は個人情報の適正な利用と保護に努める。

6. その他の事業

- ・ホームページ等情報提供機能を充実させ、地域医療ネットワーク病院やサテライトセンターの活動状況等の発信に取り組む。

平成28年度 収支予算書(損益ベース)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

	予算額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 特定資産運用益	
基本財産受取利息	3,410,000
② 受取会費	
正会員受取会費	240,000
賛助会員受取会費	2,400,000
③ 受取寄付金	
寄付金	600,000
経常収益計	6,650,000
(2) 経常費用	
① 事業費	
支払助成金	175,000,000
情報管理費用	1,200,000
調査・研究費用	100,000
研修・セミナー開催費	600,000
医学生研修助成	0
大学からの情報提供	100,000
② 管理費	
事務費	500,000
損失補填引当金	140,000
予備費	360,000
経常費用計	178,000,000
当期経常増減額	-171,350,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	-171,350,000
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	-171,350,000
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 基金増減の部	
基金受入額	1,550,000,000
基金返還額	0
当期基金増減額	1,550,000,000
基金期首残高	1,525,000,000
基金期末残高	3,075,000,000
III 正味財産期末残高	2,903,650,000

基金の運用について

・コーラブル定期預金による基金の運用について

宮城県より拠出を受けた15億円から、28年度に東北医科薬科大学に助成を行う1.5億円を差し引いた13.5億円は、別紙「ファンド運用見込表」のとおり平成39年度まで運用が可能である。

そこで複数の金融機関による入札を実施し、安全かつ有利な商品を選択して理事会の承認を得たうえで、下記の条件でコーラブル定期預金にて運用することに決定した。

(単位：千円)

金融機関名	預入額	利率	税引後利息 (年額)	期間
三井住友信託銀行	850,000	0.260%	1,768	28.3.30~39.3.30 (11年)
三菱UFJ信託銀行	500,000	0.220%	880	28.3.30~39.3.30 (11年)
合 計	1,350,000		2,648	(約定日 28.3.25)

